

Noism Company Niigata 評価書

16thシーズン（令和1年9月～令和2年8月）

団体名	新潟市民芸術文化会館		
運営者	(公財)新潟市芸術文化振興財団	活動期間	令和1年9月1日 ～ 令和4年8月31日
所在地	中央区一番堀通町3番地2		
カンパニー概要	設立年月:平成16年4月(経緯) ①市民ミュージカル「家なき子」に金森穰氏が出演 ②金森穰氏に舞踊部門芸術監督就任を打診 ③金森穰氏から専属舞踊団の設立提案を受け、(公財)新潟市芸術文化振興財団と新潟市との協議のうえ、専属舞踊団設立に同意 Noism芸術監督:金森 穰(演出振付家、舞踊家) 団員数:Noism副芸術監督1人、Noism2リハーサル監督1人、専属ダンサー19人(Noism1:11人、Noism2:8人)、専属スタッフ4人(令和2年2月28日現在) 専属契約:個々のダンサーと契約を締結 ※ダンサーは新潟市に居住することが条件		

設置目的
(1)新潟において、質の高い新たな舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する。
(2)地方から大都市に向けての新たな舞台作品の創造・発信のネットワークを形成する。
(3)活動を通して、新潟における舞踊の普及・育成などを図り、市民文化の振興に貢献する。

成果目標
【上演活動】 ①質の高い舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する。 【地域貢献】 ①ニーズ調査及び実施準備が整い次第、ワークショップ、アウトリーチ、スクール事業等の実現に取り組み、新潟市民のNoismに対する認知度を向上を図る。 ②これまで実施してきた普及事業を改善・充実し継続実施する。 ③新潟市内で活動する舞踊団体等と連携し、新潟の舞踊文化の向上に貢献する。 ④スタジオBの市民利用機会を確保するため、Noism活動による占用を段階的に緩和し、最終的に年間占用期間を10か月間とする。 【国内他館との連携】 ①他館との良好な関係性を構築し、国内のネットワーク事業の実現に取り組む。 ②事業費削減や仕込み期間の短縮など、ネットワーク事業に適した企画の立案や作品の創造を行う。 【Noism以外の舞踊作品の鑑賞】 ①金森穰以外の振付家、若しくは他の舞踊団の公演を実施することに取り組む。 【コンプライアンスの遵守】 ①館運営方針への対応 ②情報共有 ③指揮命令系統の確認 ④予算執行権の明確化 【職員の労務管理】 ①人員体制の確保 ②超過勤務の縮減

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている(複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている)
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている(複数の指標の場合、全てが達成されている)
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない(複数の指標の場合、全ては達成されていない)
- (評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

16thシーズン(令和1年9月～令和2年8月)

16thシーズン実績 ()はウイルスの感染拡大防止のため中止になった数

視点	評価項目	評価指標	自己評価			市評価		
			15thシーズン実績(参考)	16thシーズン実績	評価	評価	評価コメント	
上演活動	質の高い舞踊作品の創造・発信	Noism1 新潟公演数	2回以上	2回	2回	A	B	目標と同数であり、来場者アンケートの満足度も過去の作品と比べ同程度であるため。
		Noism1 新潟公演来場者数	前年以上	2721名	1900名	C	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場者数の制限を行ったことによる減少のため
		Noism2 新潟公演数	1回以上	1回	1回	B	B	
		Noism2 新潟公演来場者数	前年以上	514名	134名	C	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため入場者数の制限を行ったことによる減少のため
		県外での主催公演数	1回以上	2回	1回(1)	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止のため
地域貢献	新潟市民からの認知度の向上 (自主事業のみ対象)	アウトリーチ公演	2回以上	0回	0回	C	C	シーズン当初に具体的な計画を立案し、達成に向けて善処してほしい。
		Noismオープンクラス「Noismパレエ」	4回以上	0回	0回(1)	C	C	シーズン当初に具体的な計画を立案し、達成に向けて善処してほしい。
		Noismオープンクラス「からだワークショップ(子供)」	4回以上	0回	0回(1)	C	C	シーズン当初に具体的な計画を立案し、達成に向けて善処してほしい。

16thシーズン(令和1年9月～令和2年8月)

16thシーズン実績 ()はウイルスの感染拡大防止のため中止になった数

視点	評価項目	評価指標	自己評価			市評価		
			15thシーズン実績(参考)	16thシーズン実績	評価	評価	評価コメント	
地域貢献	新潟市民からの認知度の向上 (自主事業のみ対象)	Noismオープncラス「からだワークショップ(大人)」	4回以上	0回	0回(1)	C	C	シーズン当初に具体的な計画を立案し、達成に向けて善処してほしい。
		Noismオープncラス「Noismレパトリー」	4回以上	0回	0回(1)	C	C	シーズン当初に具体的な計画を立案し、達成に向けて善処してほしい。
		Noismサマースクール(3回×5日間)	15回以上	15回	0回	C	C	シーズン当初に具体的な計画を立案し、達成に向けて善処してほしい。
		Noismワンデイスクール	1回以上	0回	1回	B	B	
		視覚障がい者向けワークショップ	1回以上	0回	1回	A	A	新たな取り組みであり、参加者の満足度も非常に高かったため評価できる
		柳都会	2回	2回	1回(1)	C	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止による延期のため
	新潟の舞踊文化の向上への貢献	市洋舞踊協会合同公演振付ワークショップ	10回以上	0回	11回(5)	A	A	新たな取り組みであるとともに、目標を大きく上回ったため評価できる。
ワークショップやトーク企画等の依頼企画への出演数(個人活動を除く)		1回以上	3回	5回(1)	A	A	目標を大きく上回ったため評価できる。	
スタジオBの市民利用機会の確保	貸出可能日数(夏季39日)	39日以上	8日	39日	B	B	一般利用の促進のため、事前に貸出可能日の周知をに努めてほしい。	
国内他館との連携	国内のネットワーク強化への取り組み	共催企画	2ヶ所以上	2ヶ所	1ヶ所(1)	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止のため
		他館主催	1ヶ所以上	3ヶ所	0ヶ所(1)	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止のため
		他館等からの依頼による公演・事業の実施(個人活動を除く)		2回	7回	A	A	前年実績を大きく上回ったため評価できる。
	ネットワーク事業に適した作品の創造	他劇場のニーズに応じた作品の創造		無	有	B	B	
Noism以外の作品鑑賞	招聘振付家若しくは他舞踊団の公演を実施	振付家の招聘		0回	1回	B	B	Noism1としては12年ぶりに振付家を招聘したものの。
		Noism以外の舞踊公演	1回以上	0回	0回	B	C	公演に向けて鋭意調整を行っていたが、実施には至らなかったため
コンプライアンスの遵守	館運営方針への対応	「活動延長に係る合意書」及び「館の理念・ミッション・アウトカム」を遵守し、8月末日までに次シーズン活動計画を立案のうえ、りゅーとびあへの承認及び市の同意を得る。		合意書締結前に付、評価不能	立案のうえ承認・同意を得た	B	B	
	情報共有	りゅーとびあ、市との定例会を毎月開催する。		毎月開催した	毎月開催した	B	B	
	指揮命令系統の確認	財団処務規程に定める事務専決事項に基づき企画の採否が決定されている。		事務専決に基づかず採否決定した	事務専決に基づき採否決定した	B	B	
	予算執行権の明確化	財団会計規程等予算等に関する各種規程等を遵守し、定められた予算の中で効率的に執行している。		各種規程に基づかず執行した	各種規程に基づき効率的に執行	B	B	
職員の労務管理	人員体制の確保	欠員を生じさせない。やむを得ず欠員が生じた場合には速やかに補充する。		適切に人員を確保した	適切に人員を確保した	B	B	
	超過勤務の縮減	制作現場の指揮監督者は、りゅーとびあ職員が36協定を遵守するよう作業工程等を監督する。		遵守できなかった(ロシア公演舞台担当)	監督のうえ遵守した	B	B	

自己評価(数値に表れない定性的な評価、アピールポイント)

2020年2月末からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大およびそれに伴う緊急事態宣言により、当初予定通りに活動を行うことができず、結果として未達となった項目も多かった。特に直接身体が触れあうことの多い、舞踊のワークショップ等の開催については慎重に対応せざるを得ず、オープンスクール、アウトリーチを今シーズン開始できなかったことは悔やまれる。そんな中ではあるが、感染症対策をしながら、洋舞踊協会の振付ワークショップを行い、来シーズンの公演に向けて集中的に取り組んだ。また、視覚障がい者向けのワークショップは社会包摂の面も持ちつつ、作品創造にも影響を与えるなど、メンバーにとっても有意義なワークショップとなった。

緊急事態宣言解除後、公開リハーサルという形ではあるが、いち早く劇場で再開し、新聞・テレビ局計8社の取材を受けるなど話題性の高いものとなった。プレビュー公演も早々と完売となった。またコロナ禍で映像配信が増え、「上野の森バレエホリディ」「くものうえ世界演劇祭」「シビウ国際演劇祭」とこれまで培ってきたネットワークを通じての依頼に応える形で過去の作品の映像配信を行い、のべ20,000人以上の方から鑑賞いただいた。

なお、「国内のネットワーク強化への取り組み」の「共催企画」「他館主催」「Noism以外の舞踊公演」については実績が指標数字に達してはいないが、実施に向けて今シーズン準備をはじめていることから自己評価を「B」とした。

全体評価記載欄（未達成項目への改善策を含む）		市による総合評価（所見）	
	評価		評価
<p>新型コロナウイルス感染症が収束しない限り、表現方法が「密」にならざるを得ない舞踊においては、常に活動の制限や感染リスクが伴う。これまでの価値観での評価は難しいと感じたシーズンであった。未達成項目については今後の感染状況を見ながら、順次再開していく。</p> <p>自己評価を「A」とした「視覚障がい者向けのワークショップ」については、今後もプログラム開発をすすめつつ、盲学校へのアプローチ等も検討していきたい。「市洋舞踊協会合同公演振付ワークショップ」については、これまで共同で事業に取り組むことのなかった同協会との初公演に向けて取り組んでおり、指導者からも高く評価いただいている。また、「他館等からの依頼による公演・事業の実施（個人活動を除く）」もオンライン配信関係の依頼が多く、積極的に取り組んだ。</p> <p>また、職員・スタッフの従事状況についても、諸々の公演中止・延期対応等があり、忙殺された部分もあったが、結果として事業数が減少したため、長時間労働も現在は改善されている。</p>	B	<p>後半は、新型コロナウイルス感染症の影響により、難しい事業展開を求められたと思うが、全体を通して目標達成に向け善処していることが認められる。</p> <p>地域貢献について、本市の舞踊文化の振興に長年貢献されてきた市洋舞踊協会と合同で公演を行うなど、設立から16年経って初めての取り組みを実施したことは高く評価できる。しかし、大きく目標を上回った項目がある一方、未達成の項目も散見される、引き続きすべての目標達成に向けて努力していただきたい。</p> <p>職員・スタッフの従事状況については、目標を達成できているが、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり、事業数等が通常に戻っても後戻りすることのないよう、引き続き対応していただきたい。</p> <p>今後もしばらくは、公演やワークショップが制限されることとなるが、公の施設であるりゅーとぴあの専属舞踊団としての自覚をもって、Noismの活動が市全体の文化活動に良い影響を与えるよう取り組んでいただきたい。</p>	B